

# NewGlass Review 24

The Corning Museum of Glass

このボリュームは、2001年10月1日から2002年10月1日までの新興および確立されたアーティストによるガラスの100の重要な現代彫刻、器、およびその他の作品を特集しています。

## 「陪審員の選択」から ティナ・オールドノウ / モダングラスのキュレーター、 コーニングガラス美術館、ニューヨーク、2003年

\*\*\*\*\*

私は大規模な彫刻とインスタレーションに不満ですニューグラス・レビューの「審査員の選択」セクションでの私の選択は、このバイアスを反映しています。

大規模な作業（一般に小規模よりも達成が難しい）のコンテキストでは、ガラスで何ができるかに常に驚かされます。他のどのような媒体で、あなたはそのような垂直風景の詩の視覚的で触覚的な範囲を持つことができますか？

イランドエスピリトサントのサンドブラストガラスとビチューメンレストレス17。

角永和夫のハーフトン、滴下 Glass No.4 J。ジェリー・ペティックの組み立てられたボトルマン、ル・セミュール？ これらの4つの彫刻は、形式のおよび概念的に根本的に異なる懸念事項を持っていますが、それらは素材とその光、色、および深さを生成する能力に否定できない喜びを共有しています。



角永和夫 (1946年石川県白山市生まれ)  
Glass No.4 J 1999年 溶けたガラス D. 87 cm  
写真: グレック・クセラ ギャラリー: シアトル